

はしがき

本報告書は、当センターが平成20年度の外務省軍備管理軍縮課の委託により行った「核軍縮を巡る新たな動向」研究会の成果をとりまとめたものである。

核軍縮は長く停滞してきたが、「核兵器のない世界」に向けた核軍縮推進の気運が高まっており、昨今、米ロ間の交渉に新たに進展の兆しが見えるとともに、英仏も核軍縮に取り組む姿勢を表明している。また、ノルウェー政府開催の会合に見られるように非核兵器国によるイニシアティブも示されている。さらに、「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」の設立などに見られるように、政府以外からの様々な提案や動きも活発になっている。

本研究では、こうした世界的な流れの中で我が国として取るべき軍縮外交政策の策定に寄与することも目的に含めつつ、上述のような核軍縮に関する取り組みや提案の概要や動向をとりまとめるとともに、新たな国際環境を背景にした核軍縮をめぐる動向が国際安全保障、ならびに北東アジア地域の安全保障に与える影響などに関して考察した。

本研究会の委員は、下記の通りである。

秋山 信将	一橋大学准教授
石川 卓	東洋英和女学院大学准教授
小川 伸一	防衛省防衛研究所研究部長
黒澤 満	大阪女学院大学教授（主査）
戸崎 洋史	当センター主任研究員（幹事）
福島 康仁	当センター研究員補
古川 勝久	科学技術振興機構 社会技術研究開発センター主任研究員

（五十音順、敬称略）

本報告書は、この議論の経緯を踏まえ、研究会の委員により執筆されたものである。本報告書が今後のわが国の軍縮・不拡散政策および安全保障政策に少しでも貢献できれば幸いである。最後に、研究会への参加や報告書の執筆を通じてご貢献いただいた関係各位に対して、甚大なる謝意を表すものである。

なお、本報告書に表明されている見解は、すべて各執筆者のものであって、日本政府および当センターの意見を代表するものではない。

平成21年3月

財団法人 日本国際問題研究所
軍縮・不拡散促進センター
所長 阿部 信泰

目 次

第1章 新たな核軍縮への取り組みおよび提案——核兵器国、主要非核兵器国・グループの取り組み・提案-----	1
第2章 新たな核軍縮への取り組みおよび提案——米国などの主要シンクタンク・グループによる核軍縮の提案-----	21
第3章 現在の国際安全保障環境と核軍縮-----	35
第4章 米国の核戦略・政策と核軍縮-----	45
第5章 核軍縮と日米同盟——拡大抑止への影響-----	56
第6章 中国の核戦力増強と北東アジアの安全保障および核軍縮-----	68
第7章 透明性、不可逆性、検証可能性-----	81